

第40回長野県フィギュアスケート選手権大会

1. 主催 長野県スケート連盟
2. 主管 長野県フィギュア委員会
3. 期日 令和4年2月27日(日) 12:00-18:00予定 参加人数により調整
※参加人数により変更することがある
4. 会場 風越公園アイスアリーナ
5. 競技規定 I. S. U. 及び日本スケート連盟の競技規定による
6. 競技種目 男女ともシングルスケート
7. 参加資格 長野県スケート連盟登録クラブの登録者
クラス分け課題は別紙のとおり、
8. 表彰 (1) 選手権クラス1位の者に優勝杯、メダル及び賞状、2位から3位にメダル及び賞状、
4位から6位に賞状を授与する
(2) 他各クラス1位から3位に賞状及びメダル、4位から6位に賞状を授与する
9. 参加申込 日本スケート連盟ホームページ「競技会オンライン申込サイト」<https://www.skatingjapan.jp/myac/>
より申し込みと予定要素を入力する。
 - (1) 申込締切日 令和4年2月4日(金)
 - (2) 参加料 1人5,000円(大会当日クラブ毎にまとめて集金)
 - (3) 予定要素は2月25日までに 日本スケート連盟マイページサイトにて登録すること
10. その他 (1) 選手、コーチ、シャペロン、関係者の皆さまは、受付時に健康調査票の提出が必要です。
健康調査票は「JSFヘルスチェック」(携帯アプリケーション)か紙の健康調査票でのご提出をお願いします。
(2) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の事項に該当する場合は参加を見合わせる
こと(イベント当日に書面で確認を行います)
体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域
等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
(3) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の点に注意すること
マスクを持参すること(参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない時間や
会話をする際にはマスクを着用すること)
こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること
イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと
感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う
イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者
に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

競技課題の内容

【別記 1】 2級クラス 男子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.8(全 PC 共通) 転倒: -0.2

(演技時間 2 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4個

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを 2 回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった 4 種類を含むこと。(回転数が異なっても同じ種類とする)

内 1 つはアクセル型ジャンプでなければならない。但し、同じ種類のジャンプは2個まで(回転数が異なっても同じ種類とする)

b) スピン要素 異なった 2 種類を 2 個 (レベルは認定)

1 つは1ポジションのスピンの基本姿勢で5回転以上)

1 つはスピン・コンビネーションのスピンの足換えが無い場合は5回転以上、足換えがある場合は、合計 10 回転以上)

c) ステップ要素 ステップ・シークエンス 最大レベル 1 で評価をする。

氷面を十分に使用したステップ・シークエンス

【別記 2】 1級クラス 男子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.5(全 PC 共通) 転倒: -0.2

(演技時間 1 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを1回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった 4 種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ可

b) スピン要素 最大 1 個

1ポジションのスピンの基本姿勢で5回転以上)レベルBで評価する。

c) ステップ要素 ステップ・シークエンス 最大レベル B で評価をする。

シークエンスの長さは 1/2 以上で認定する。

【別記 3】 初級クラス 男子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.2(全 PC 共通) 転倒: -0.2

(演技時間 1 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを1回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった 4 種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ可

b) スピン要素 最大 1 個

1ポジションのスピンの基本姿勢で5回転以上)レベルBで評価する。

【別記 4】 2級クラス 女子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.8(全 PC 共通) 転倒: -0.2

(演技時間 2 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4個

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスを2回含むことができる。第一ジャンプは異なった4種類を含むこと。(回転数が異なっても同じ種類とする)

内1つはアクセル型ジャンプでなければならない。但し、同じ種類のジャンプは2個まで(回転数が異なっても同じ種類とする)

b) スピン要素 異なった2種類を2個 (レベルは認定)

1つは1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)

1つはスピン・コンビネーションのスピンの(足換えが無い場合は5回転以上、足換えがある場合は、合計10回転以上)

c) ステップ要素 ステップ・シーケンス 最大レベル1で評価をする。

氷面を十分に使用したステップ・シーケンス

【別記 5】 1級クラス 女子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.5(全 PC 共通) 転倒: -0.2

(演技時間 1 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスを1回含むことができる。第一ジャンプは異なった4種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ不可

b) スピン要素 最大1個

1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)最大レベル1で評価する。

c) ステップ要素 ステップ・シーケンス 最大レベルBで評価をする。

シーケンスの長さは1/2以上で認定をする。

【別記 6】 初級以下クラス 女子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.2(全 PC 共通) 転倒: -0.2

(演技時間 1 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスを1回含むことができる。第一ジャンプは異なった4種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ可

b) スピン要素 最大1個

1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)レベルBで評価する。

競技課題の内容

シングル・スケートティング

【フリー・スケートティングの減点について】

- ①転倒は1回につき 1.0 減点される。但し、ノービス課題は 0.5、2 級以下のクラスの減点は 0.2 点とする。
- ②滑走時間の過不足は規定時間の過不足 5 秒ごとに 1.0 が減点される。

その他

- ※1 規定されている最大ジャンプ数のうち、第一ジャンプが重複したものは無価値となる。
(2 級以下クラス)
- ※2 スピンと認められるには 3 回転以上が必要、3 回転未満は無価値となる。
- ※3 ジャンプでは必要回転数に 1/4 回転よりは大きいのが、1/2 回転未満の場合は Under-rotated “<”、1/2 回転以上の場合 Downgraded “<<”となる。
- ※4 シングル・アクセル・ジャンプのダウングレードは無価値となる。(ワルツジャンプとは異なる)
- ※5 プログラム・コンポーネンツの係数(ノービスクラス)
男子は 2.0、女子 1.6
- ※6 初級・1 級・2 級クラスにおいては、後半に開始されるジャンプ要素の基礎値(GOE の値ではない)に対する 1.1 倍は考慮しない。
- ※7 シングル・スケートティングのショート・プログラムにおいて、後半に開始されるジャンプ要素の基礎値(GOE の値ではない)は特別に 1.1 倍される。

日本スケート連盟ノービス競技会における演技中断の減点

ISU コミュニケーション第1817 号(演技の中断)の発表を受け、日本スケート連盟ノービス競技会における演技の中断による減点を以下のようにする。

プログラムの中断が起こった場合には、レフェリーは10秒毎に0.5を減点する。

例えば 11秒～20秒 0.5 21秒～30秒 1.0

競技者がレフェリーに中断を要求せず、事態を40秒以内に解消した場合

上記の中断を適用し、40秒を超えた場合は棄権となる。

レフェリーに40秒以内に最長3分間の中断を要求した場合は、レフェリーは中断全体に対し2.5を減点する。

2級以下ロークラスにおける演技中断の減点

プログラムの中断が起こった場合には、レフェリーは10秒毎に0.2 を減点する。

レフェリーに40秒以内に最長3分間の中断を要求した場合は、レフェリーは中断全体に対し1.0 を減点する。

採点システムにおいては転倒減点を使用して成績処理をします。

【競技種目】

シングル・スケート男子

クラス	参加資格		時間	課題
選手権	7級以上	2020年7月1日以前に15才に達している者	2分40秒±10秒 4分00秒±10秒	ISU シニア課題 ショート・プログラム フリー・スケート
ジュニア選手権	5級以上	2001年7月1日～2007年6月30日の間に出生した者	2分40秒±10秒 3分±30秒	ISU ジュニア課題 ショート・プログラム フリー・スケート
ノービス A	4級以上 (見込み級を含む)	2007年7月1日～2009年6月30日の間に出生した者(来シーズン年齢含む)	3分±10秒	日本スケート連盟 全日本ノービス A 課題
ノービス B	3級以上 (見込み級を含む)	2009年7月1日～2011年6月30日の間に出生した者(来シーズン年齢含む)	2分30秒±10秒	日本スケート連盟 全日本ノービス B 課題
4級クラス			3分±10秒	日本スケート連盟 全日本ノービス A 課題
3級クラス			2分30秒±10秒	日本スケート連盟 全日本ノービス B 課題
2級クラス			2分±10秒	別記 1
1級クラス			1分±10秒	別記 2
初級クラス			1分±10秒	別記 3

シングル・スケート女子

クラス	参加資格		時間	課題
選手権	7級以上	2020年7月1日以前に15才に達している者	2分40秒±10秒 4分±10秒	ISU シニア課題 ショート・プログラム フリー・スケート
ジュニア選手権	6級以上	2001年7月1日～2007年6月30日の間に出生した者	2分40秒±10秒 3分30秒±10秒	ISU ジュニア課題 ショート・プログラム フリー・スケート
ノービス A	6級以上 (見込み級を含む)	2007年7月1日～2009年6月30日の間に出生した者(来シーズン年齢含む)	3分±10秒	日本スケート連盟 全日本ノービス A 課題
ノービス B	5級以上 (見込み級を含む)	2009年7月1日～2011年6月30日の間に出生した者(来シーズン年齢含む)	2分30秒±10秒	日本スケート連盟 全日本ノービス B 課題
5級クラス			3分30秒±10秒	ISU ジュニア課題 フリー・スケート
4級クラス			3分±10秒	日本スケート連盟 全日本ノービス A 課題
3級クラス			2分30秒±10秒	日本スケート連盟 全日本ノービス B 課題
2級クラス			2分±10秒	別記 4
1級クラス			1分±10秒	別記 5
初級クラス			1分±10秒	別記 6

※1 選手権、ジュニア選手権のフリー・スケートはショート・プログラムの上位24名で行う